

## 地区ロータリー財団委員会

委員長 豊澤 洋太郎

ロータリー財団(The Rotary Foundation) (TRF)ともいいます。

ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。

ロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、

アーチ C. クランフが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよいことをするために基金を作ろう」と提案したことに始まりました。現在、国際ロータリーとロータリー財団の第1目標はポリオ・プラスです。

現時点で、財団寄付個人最高額は、1億3千884万円です。

ちなみに米山記念奨学は、1億1千632万円です。

当地区の財団寄付額は、97－98年度(912, 368. 20ドル)をピークに会員の減少とともに下がり続け、10－11年度は467, 849. 00ドルでした。対比で51%まで低下しています。

地区の委員会構成は、財団学友小委員会(井上 弘小委員長)、財団奨学金小委員会(但見 淳小委員長)、財団ポリオ・プラス小委員会(豊澤 たつみ小委員長)、財団補助金小委員会(松生 満小委員長)、財団資金推進小委員会(藤田 正俊小委員長)、財団VTT小委員会(大森 豊小委員長)、の合計6つの小委員会で構成されています。次年度から、本日開催のロータリー財団セミナーと必須セミナーである、資金管理セミナーを開催させていただく予定です。このセミナーを受講して頂いていないクラブは、夢計画の補助金申請資格がございません。また、次年度は夢計画の申請年度となり、次々年度は実行年度となります。

未来の夢計画ではかなりの変更があります。

当地区の看板プログラムの財団国際親善奨学生、GSE、WCS・ロータリー・ボランティア(2011年6月30日廃止)等の名称がなくなります。

形と名称を変え、新地区補助金・グローバル補助金で使えるものもごございます。

皆様からのご寄附ですが①1, 000ドルでポール・ハリス・フェローとなります。

②2, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはS1)

③3, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはS2)

④4, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはS3)

⑤5, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはS4)

⑥6, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはS5)

⑦7, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはR1)

⑧8, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはR2)

⑨9, 000ドルでマルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ピンはR3)

10, 000ドルでMD1          25, 000ドルでMD2

50, 000ドルでMD3          100, 000ドルでMD4

250, 000ドルでAKS1    500, 000ドルでAKS2

100万ドルでAKS3